



複合専門商社グループ

YUASA REPORT

第 144 期 2022.4.1-2023.3.31



ユアサ商事株式会社

証券コード：8074



創業360周年に向けた「Growing Together 2026」の達成

代表取締役社長 田村 博之

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループでは本年4月に、2026年3月期を最終年度とする新中期経営計画「Growing Together 2026」を発表いたしました。2026年の創業360周年を見据えた「ユアサビジョン360」実現のための最終(3rd)ステージとして位置づけ、経済価値(財務価値)と社会・環境価値(非財務価値)の両面において企業価値を最大化すべく、取り組みを推進してまいります。 [P3~4参照](#)

新中期経営計画においては、市場ニーズを捉えるマーケットアウト型へビジネスモデルを変革し、収益性と成長性を高めてまいります。 [P5~6参照](#)

2023年3月期 経営成績

売上高	5,048億6百万円 前期比 9.1%増	経常利益	153億82百万円 前期比 31.0%増
営業利益	145億99百万円 前期比 22.9%増	親会社株主に 帰属する当期純利益	100億79百万円 前期比 25.1%増

収益性向上については、当社の取引先ネットワークとともに、人・モノ・カネ・情報・データ・技術などあらゆるものを「つなぐ」ことで、社会課題を解決する「つなぐ」イノベーションをこれまで以上に推進してまいります。 [P7参照](#)

最新の「つなぐ」イノベーションを体感いただける機会として、当社最大のプロモーションである「グランドフェア」を全国5会場で開催いたします。是非、お近くの会場に足をお運びいただけますと幸甚です。 [裏表紙参照](#)

成長戦略においては、コア事業で培った強み(商品、サービス、ネットワーク)を活かし積極的な投資を行ってまいります。特に海外戦略については、タイを総合力発揮のモデル拠点と位置づけ、

インドをはじめとしたASEAN地域をターゲットに、成功モデルを水平展開してまいります。

[P8参照](#)

ビジネスモデル変革を支える柱として、定量計画の達成に向けた経営基盤の強化のため「風土改革」「DX推進」「サステナビリティ推進」をより強化してまいります。人事制度の改革による社員エンゲージメントの向上やデータ活用に向けた基盤整備と人材強化、「サステナビリティ宣言」に沿った取り組みを通じ、非財務観点からも企業価値向上を目指します。

[P9参照](#)

営業キャッシュ・フローの配分方針は、海外事業をはじめとした成長投資を強化しつつ、株主還元率33%以上及びDOE(株主資本配当率)3.5%以上を目標とし、配当等による還元を継続してまいります。

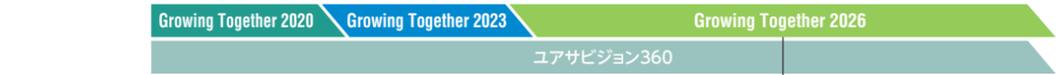
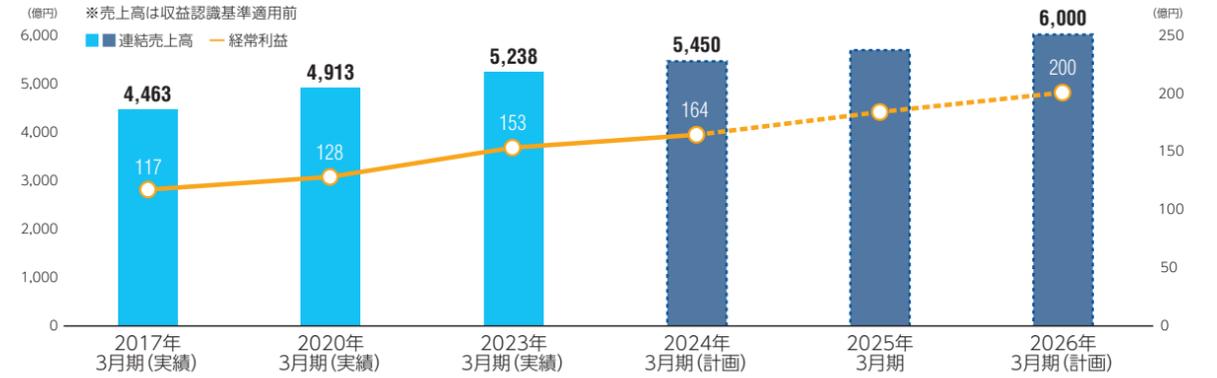
2024年3月期は中間配当86円、期末配当86円の合計172円の配当を予定しております。今後も経営・財務状況及び資本効率を鑑み、機動的に還元政策の検討を実施いたします。

株主の皆様におかれましては、何卒相変わリませぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

長期ビジョンと中期経営計画

「ユアサビジョン360」2026年(創業360周年)のビジョン

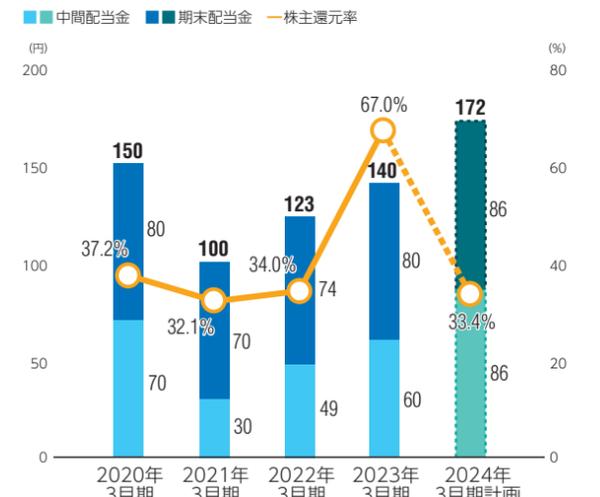
業界トップレベルの収益構造を持つ「**つなぐ**」複合専門商社グループへの成長を目指します。



定量目標(連結)

売上高	2026年3月期計画 6,000億円*
営業利益	190億円
経常利益	200億円
経常利益率	3.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	132億円
ROE	11.8%
株主還元率	33%以上

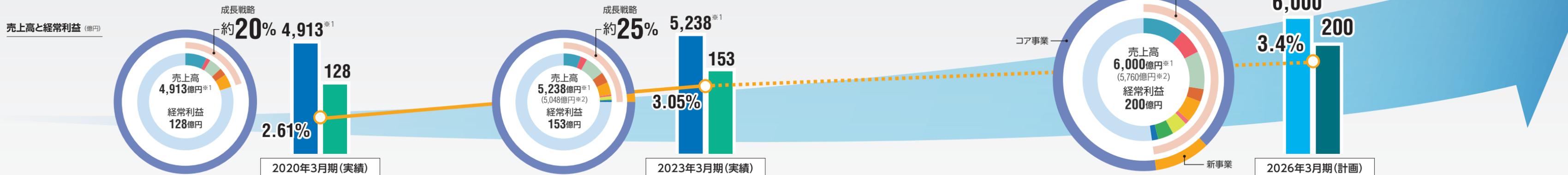
1株当たり配当金と株主還元率の推移



*収益認識基準適用前

ユアサビジョン360と中期経営計画「Growing Together」

創業360周年を迎える2026年の当社グループのあるべき姿「ユアサビジョン360」を定め、企業価値の向上とCX(Corporate Transformation：企業変革)の実現に向けた取り組みを3年ごとの中期経営計画「Growing Together」として定義しています。



2026年以降の
あるべき
企業グループ
への変革

- ・企業価値向上
- ・CXの実現

P5~6参照

成長戦略

P8参照



2ndステージ(2021-2023) Growing Together 2023

総括

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行やウクライナ情勢といった不確実性に加え、エネルギー価格の高騰・半導体不足・円安といった外的環境の大きな変化が続くも、コア事業の強化に加え成長戦略の推進と拡大により2023年3月期は過去最高益を達成。一方、海外を中心にコロナ禍による制約から投資計画は未達。

基本方針

成長戦略の推進

コア事業の強化

経営基盤の強化

基本方針の実行状況

- 環境・エネルギー事業等の拡大により、全社売上に占める成長戦略分野の割合が約25%へ伸長
- 社会課題の解決に向けた「つなぐ」ソリューション提案を推進
- 総合力・チャレンジ・コミュニケーションをキーワードに、持続可能な経営基盤づくりを推進

実行した主な施策

- ▶ 社会課題の解決に向けた「つなぐ」ソリューション展開
環境分野におけるカーボンニュートラル推進事業の本格化
- ▶ 総合力発揮に向けた部門横断組織(グローイング戦略本部)設立
M&A実績：中川金属(産業機器) 丸建サービス(建設機械)
- ▶ DX推進に向けたプロジェクトのスタート
サステナビリティ宣言の発表と具現化に向けた取り組み開始

3rdステージ(2024-2026) Growing Together 2026

ユアサビジョン360達成に向けた仕上げ・収穫

基本方針

モノづくり、すまいづくり、環境づくり、まちづくりの分野において、お取引先様とともに「つなぐ」イノベーションにより社会課題を解決し、新たな市場を創り、国内&海外に展開することで、企業価値を向上させる。

骨子

- 基本方針の実現のため、風土改革、DX推進、サステナビリティ推進をベースとし、ビジネス変革を進める。
- 創業400年に向け企業理念を継承しさらに発展・進化させる。

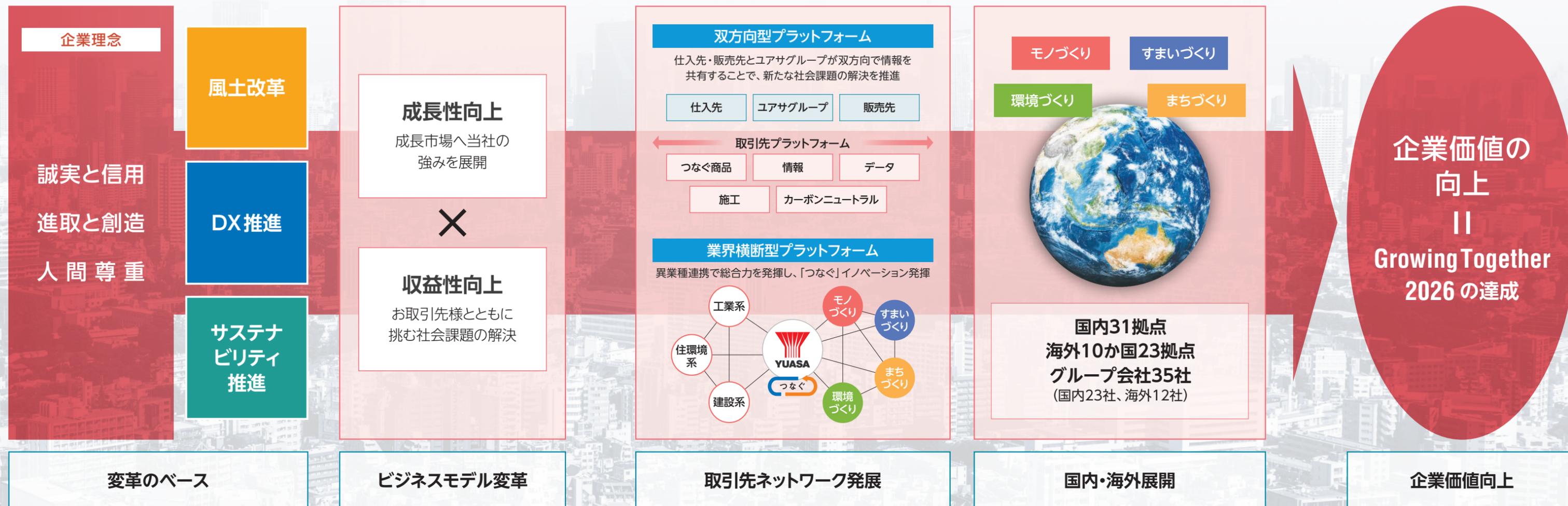
新中期経営計画「Growing Together 2026」で目指すビジネス変革

「マーケットアウト」の考え方により市場ニーズを的確に捉えるとともに、取引先ネットワークのさらなる発展を通じ、これまでの「人・モノ・カネ」に加えて「情報・データ・技術」などあらゆるものを「つなぐ」ことで、社会課題を解決する付加価値の高いビジネスモデルを確立し、国内・海外市場へ展開してまいります。

前中期経営計画からの継続課題

- 既存事業の収益性向上
- 「変えるべきこと」と「変えてはいけないこと」を見極めそれぞれの施策実施
- 総合力・チャレンジ・コミュニケーションを全グループで取り組み強化
- 戦略立案のためのデータを蓄積・活用できるシステム構築、DX人材育成
- 成長戦略のさらなる推進
- サステナビリティ経営の推進

ビジネス変革の全体像



つなぐ イノベーションによる社会課題解決

マーケットアウト思考でニーズを捉え、当社ネットワークによりモノやサービス、技術、データなどを「つなぐ」ことで新たな価値を創造し、社会課題の解決を通じた収益性の向上に取り組みます。

モノづくり

AIによる飲料異物検査装置 FaiND OUT 2

社会課題
目視による検査工程の自動化



AIにて異物判定中

AIにより異物混入を自動検知

飼料配合装置 オリジナルあっぺん機

社会課題
飼料価格の高騰、食料安全保障



国内で調達可能な原料を使って安定的に飼料を配合

すまいづくり

Vehicle to Home向け門柱 V2H 宅配BOX付門柱

社会課題
CO₂削減&スマートライフの実現



V2H 機器+宅配ボックス付門柱

遊休地活用ソリューション ガレージゴルフ

社会課題
企業などにおける遊休地活用

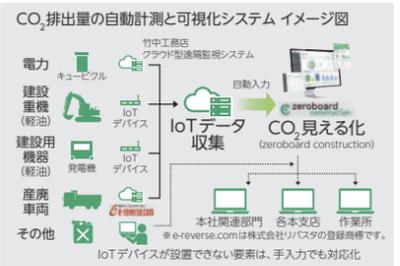


稲葉製作所「イナバガレージ」を活用しシミュレーションゴルフ設備を簡単設置

環境づくり

IoT活用によるCO₂計測 建設現場CO₂計測システム

社会課題
建設現場のCO₂排出量可視化

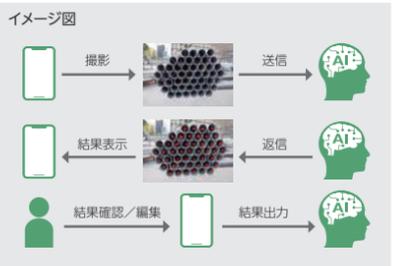


IoTデータ収集 CO₂見える化 (zeroboard construction)

専用センサーによるCO₂の自動計測

仮設資材数量管理システム AI数量カウントシステム

社会課題
仮設資材カウント作業の自動化



AIが仮設資材数量を自動カウント

まちづくり

車番認証ゲート SAI-GATE (サイゲート)

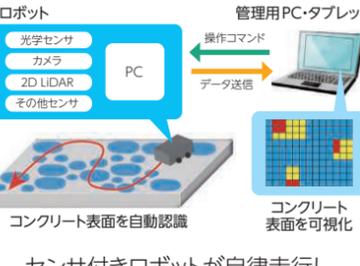
社会課題
不審車や未登録車の侵入防止



ナンバープレート認識による自動開閉

ロボットを活用した無人管理 コンクリート湿潤管理システム

社会課題
目視による湿潤管理の人手不足



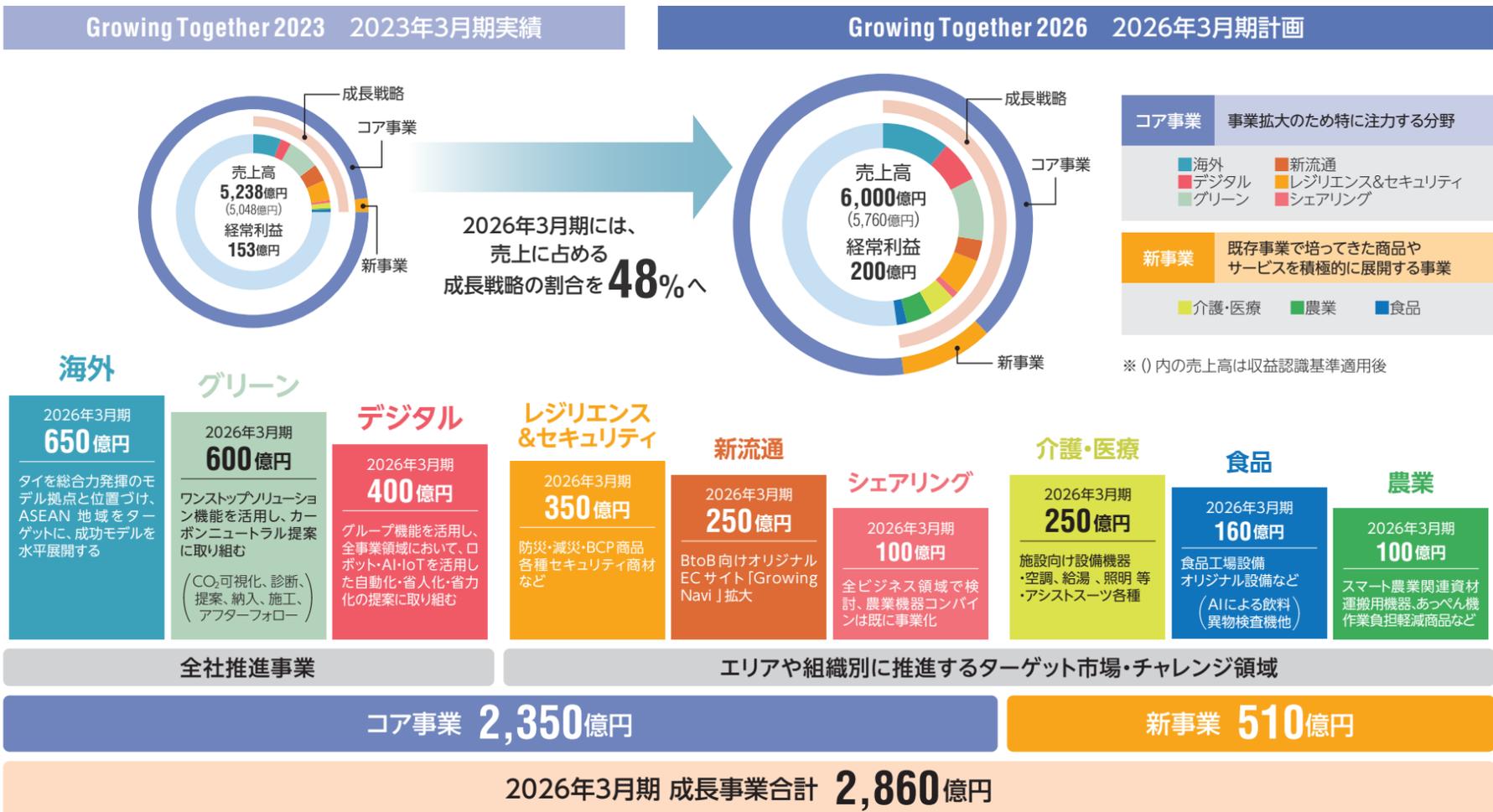
センサー付きロボットが自律走行し1,000平米を30分で判定可能

ビジネスモデル変革の要となる成長戦略

成長戦略は、既存コア事業の拡大を図る分野と新たな市場を創造する事業分野から構成され、また各事業を「全社推進事業」と「エリアや組織別に推進を図る事業」に定義し、持続的な成長のために取り組みを強化します。

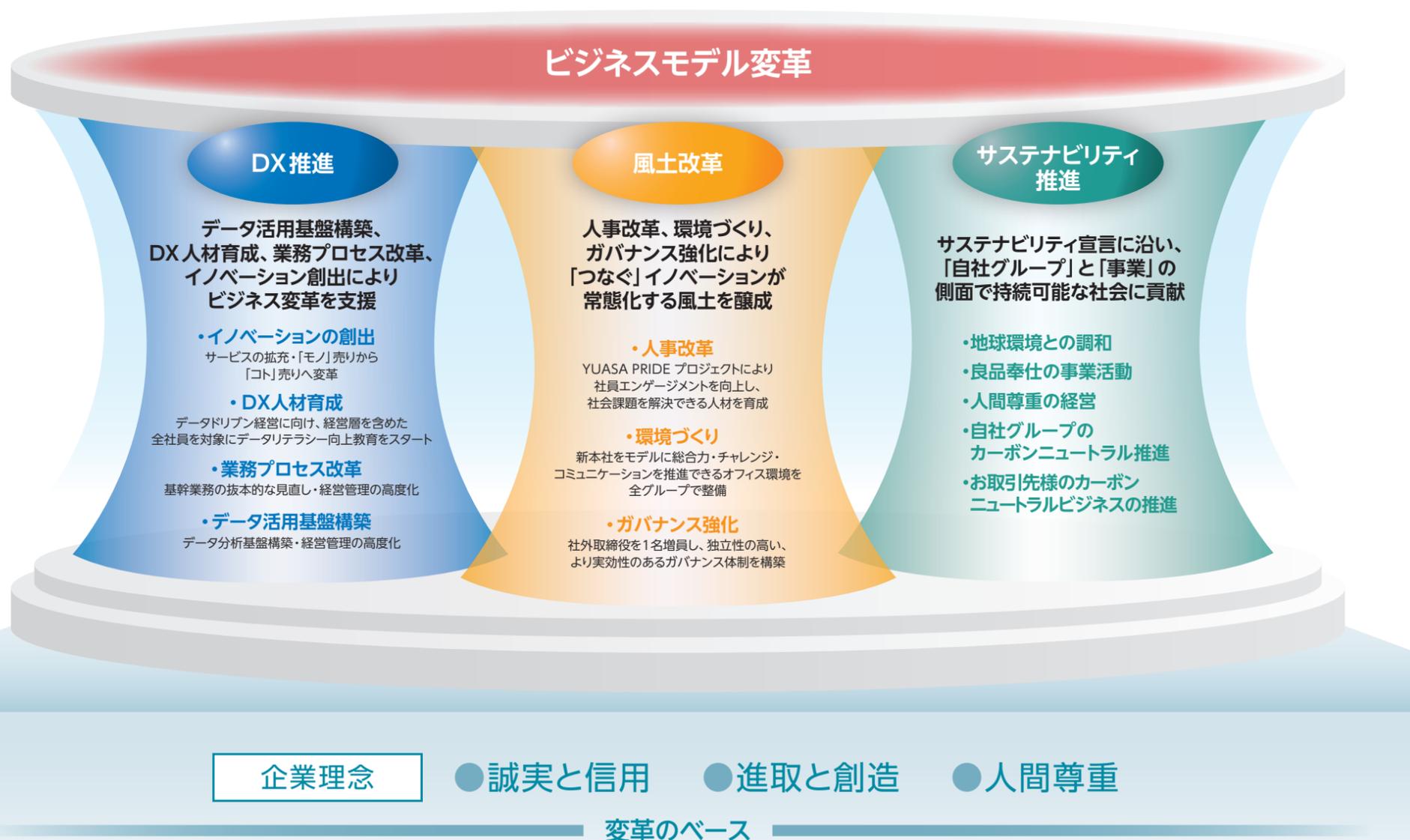
成長戦略推進

- 推進組織による、部門・エリア横断での戦略・情報共有、サポート
- コア事業で培った強み (商品・ソリューション) を展開しキャッシュを積極的に投資 P10参照



ビジネスモデル変革を推進させる3つの柱

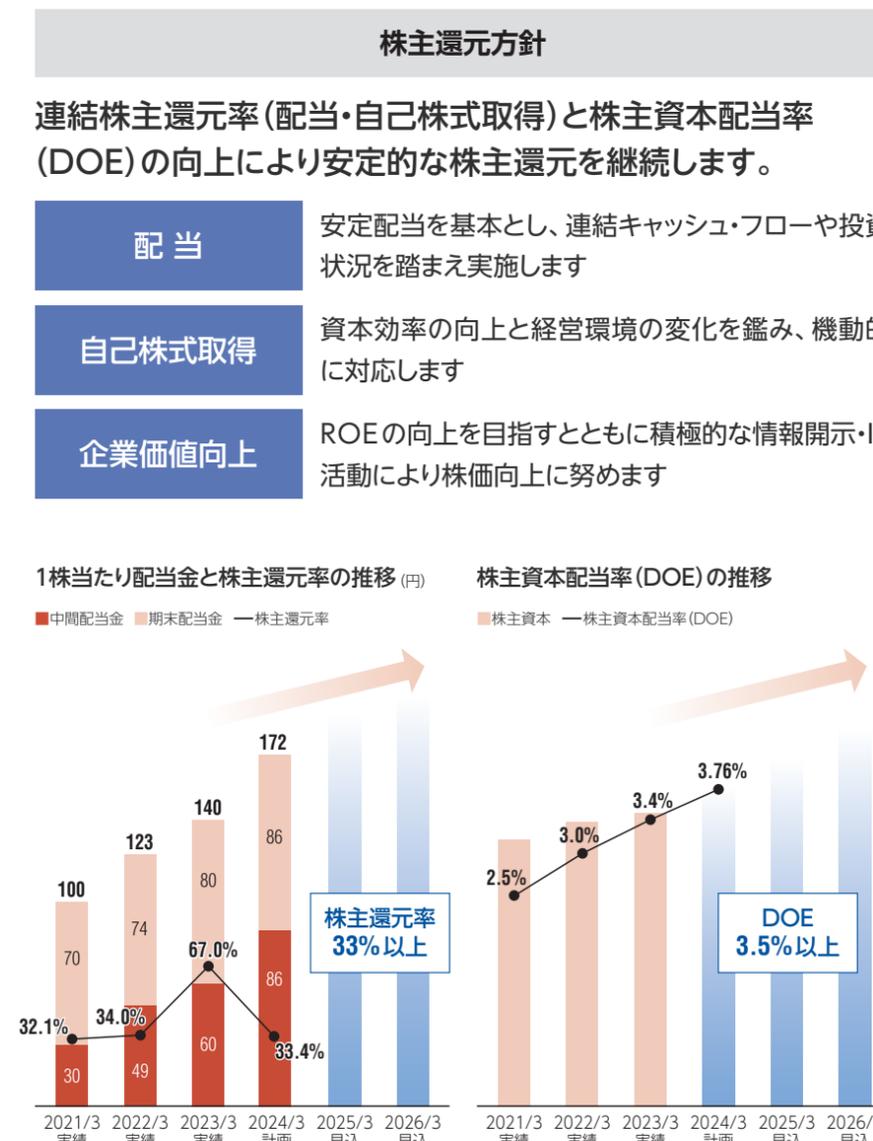
「風土改革」「DX推進」「サステナビリティ推進」に取り組み、経営基盤の強化によりビジネスモデル変革を推進します。



新中期経営計画「Growing Together 2026」の資金配分方針

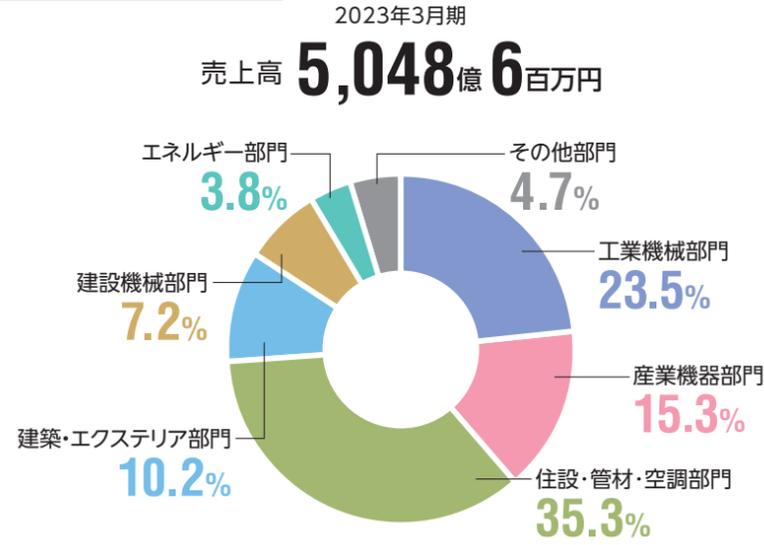
海外・デジタル・グリーン事業に60億円、他成長事業・コア事業に40億円、DX ITデジタルに112億円の計212億円の成長投資を行うとともに、配当などによる株主還元率33%以上の方針に基づき安定的な株主還元を継続します。

投資方針 (2023.4~2026.3)		
投資項目	Growing Together 2026	
	計画	内容
海外事業	60億円	●M&A投資
デジタル事業		
グリーン事業		
レジリエンス&セキュリティ事業		
新流通事業	40億円	●タイ強化投資
介護・医療事業		
農業事業		
食品事業		
シェアリング事業		
コア事業	112億円	●機能強化投資 ・人材開発 ・営業プロモーション強化 ・ロジスティクス基盤整備
DX ITデジタル投資		
合計	212億円	●DX ITデジタル投資

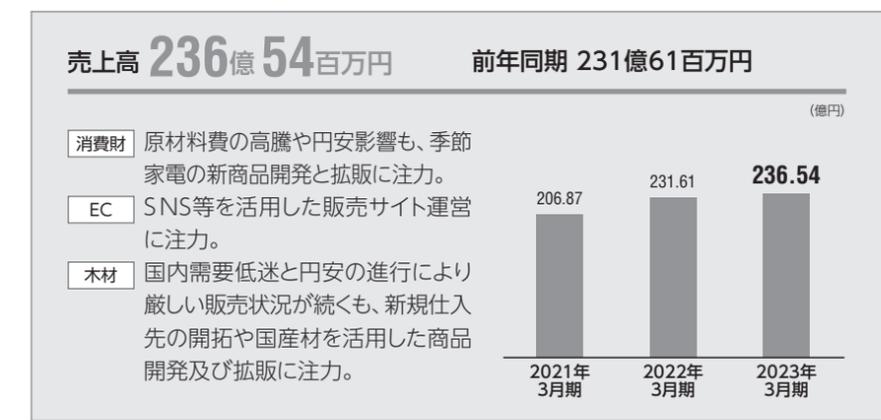
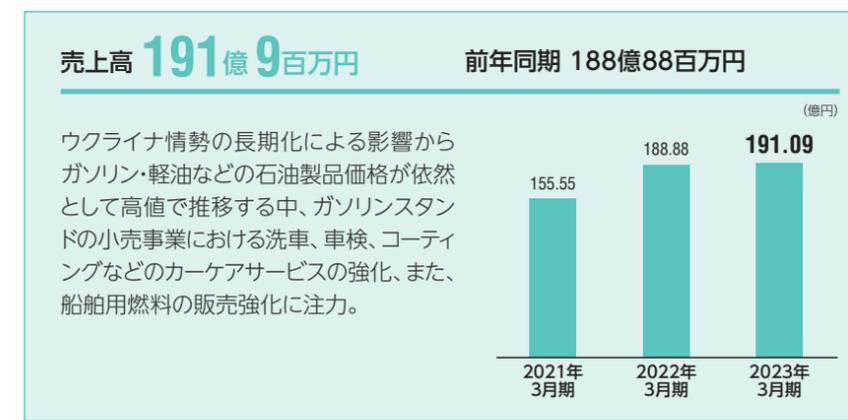
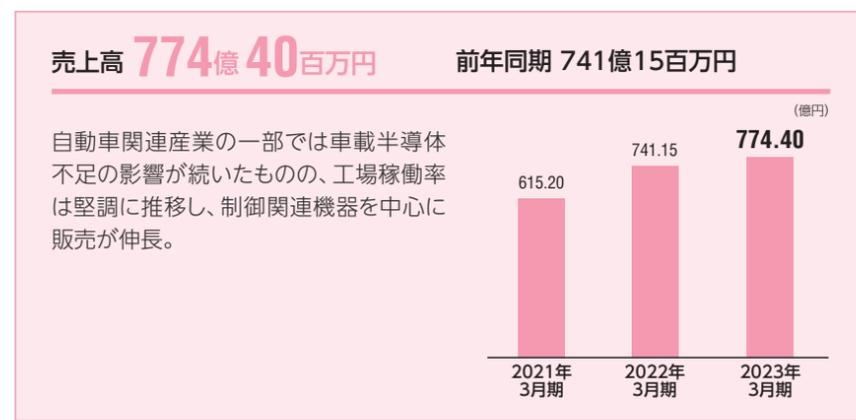
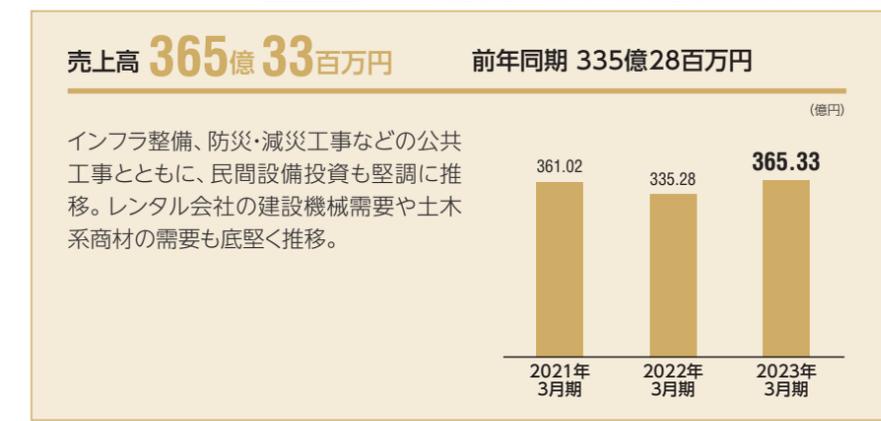
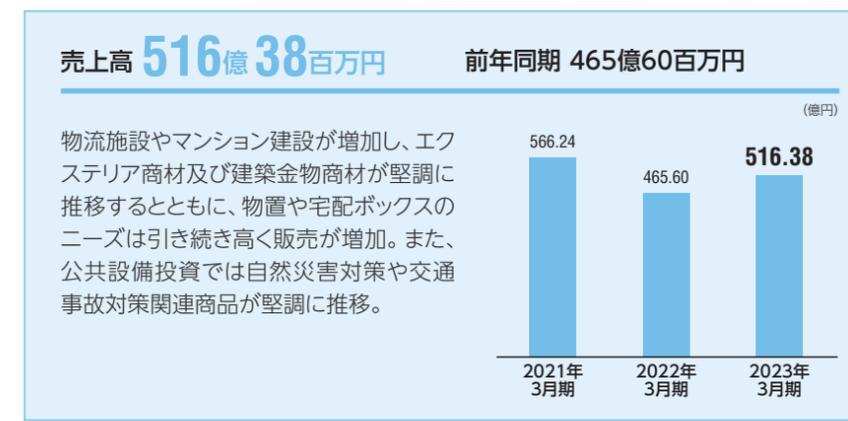
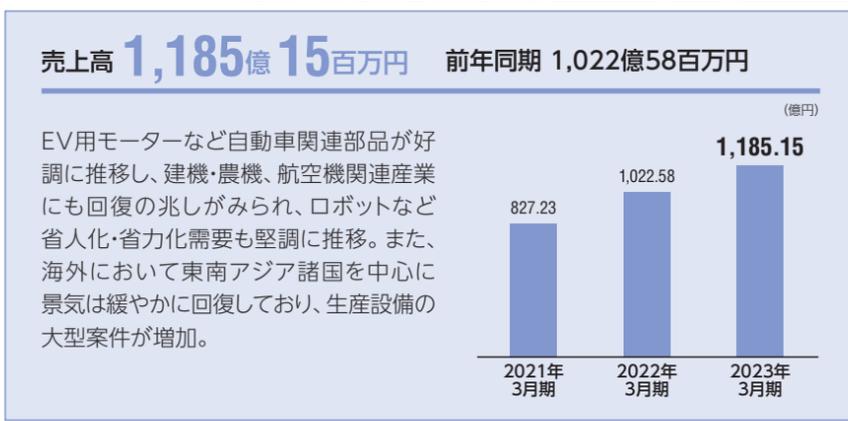


セグメント別の概況

セグメント別売上高構成比



※2022年3月期以降の売上高は収益認識基準適用後の数値を記載しております。

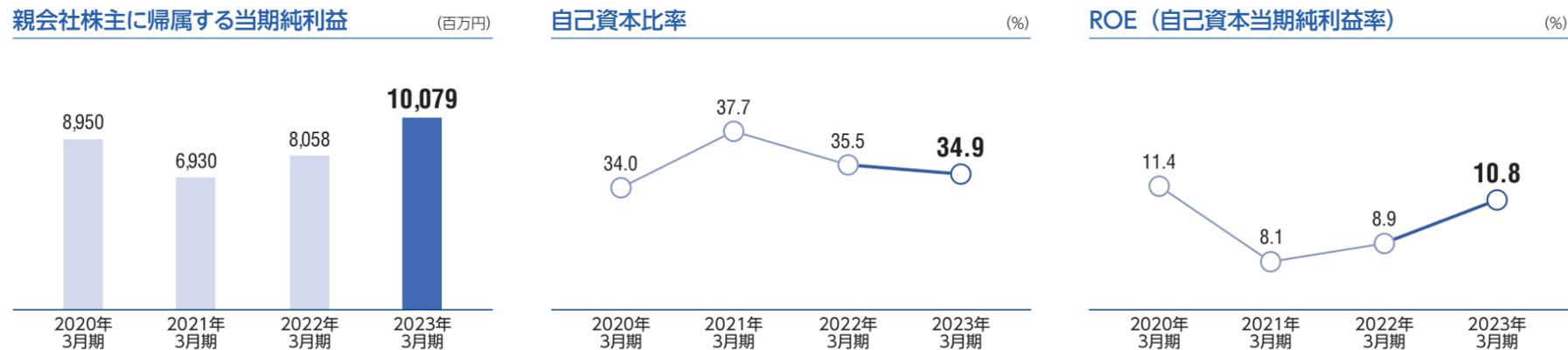


財務ハイライト

2023年3月期のポイント

連結業績 工業分野では、自動車関連産業においてEV関連を中心に堅調な設備投資需要が続きました。建設・住宅分野では、公共設備投資やマンションを中心とした新築着工戸数は堅調に推移しました。海外では、部品・資材の価格や人件費の上昇及び中国での経済成長の伸び悩みがみられましたが、米国や東南アジア諸国の景気は緩やかな持ち直しが続きました。この結果、売上高は**5,048億円**、営業利益は**22.9%**の増益、経常利益は**31.0%**の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は**25.1%**の増益となりました。

配当金 期末配当金につきましては**1株当たり80円**とし、中間配当金と合わせて**年間140円(株主還元率67.0%)**とさせていただきます。



※ 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期の期首から適用しており、2022年3月期以降の数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

会社概要／株式情報

会社概要

商号 ユアサ商事株式会社
YUASA TRADING CO.,LTD.
本社 東京都千代田区神田美土代町7番地
創業 1666年(寛文6年)3月
設立 1919年(大正8年)6月25日
資本金 20,644百万円
従業員数 2,533名(連結) 1,103名(単体)

取締役及び監査役 (2023年6月23日現在)

名前	役職	管掌
田村 博之	代表取締役社長	兼 海外事業推進担当
佐野木晴生	代表取締役専務 経営管理部門統括	兼 地域・グループ担当 兼 輸出管理委員会委員長 兼 倫理・コンプライアンス委員会委員長 兼 内部統制委員会委員長
田中 謙一	専務取締役 営業部門統括 住環境マーケット事業本部長	兼 ユアサプライムス(株)代表取締役会長
濱安 守	取締役 工業マーケット事業本部長	兼 (株)国興取締役会長 兼 ユアサネオテック(株)代表取締役会長
大村 貴臣	取締役 建設マーケット事業本部長	兼 ユアサマクロス(株)代表取締役会長 兼 ユアサ木材(株)取締役 兼 富士クオリティハウス(株)取締役 兼 (株)丸建サービス 取締役 兼 ユアサ燃料(株) 取締役
前田 新造	取締役(社外)	
木村 恭介	取締役(社外)	
平井 嘉朗	取締役(社外)	
光成 美樹	取締役(社外)	
古本 好之	監査役(常勤)	
前冨 威	監査役(常勤)	
本田 光宏	監査役(社外)	
加城 千波	監査役(社外)	

(注) 社外取締役を除く取締役は執行役員を兼務しております。

国内ネットワーク (2023年4月1日現在)

国内拠点	主な国内グループ会社
31拠点 (8支社、13支店、10営業所)	株式会社国興 中川金属株式会社 永井産業株式会社
	ユアサネオテック株式会社 ユアサクオビス株式会社 友工商事株式会社 浦安工業株式会社 株式会社マルボシ 株式会社サンエイ 株式会社高千穂 フシマン商事株式会社
	ユアサマクロス株式会社 富士クオリティハウス株式会社 株式会社丸建サービス ユアサ燃料株式会社
	ユアサプライムス株式会社 ユアサ木材株式会社 ユアサシステムソリューションズ株式会社
住設・管材・空調	
建設機械	
エネルギー	
その他	

海外ネットワーク

主な海外グループ会社	
湯浅商事(上海)有限公司	中国
YUASA TRADING (TAIWAN) CO.,LTD.	台湾
YUASA TRADING (THAILAND) CO.,LTD.	タイ
YUASA ENGINEERING SOLUTION (THAILAND) CO.,LTD.	タイ
PT. YUASA SHOJI INDONESIA	インドネシア
YUASA MECHATRONICS (M) SDN. BHD.	マレーシア
YUASA TRADING (PHILIPPINES) INC.	フィリピン
YUASA TRADING VIETNAM CO.,LTD.	ベトナム
YUASA TRADING INDIA PRIVATE LIMITED	インド
YUASA-YI, INC.	米国
YUASA SHOJI MEXICO, S.A. DE C.V.	メキシコ

株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数…………… 40,000,000株
発行済株式総数…………… 23,155,882株
(自己株式1,870,205株を含む)

株主数…………… 7,412名

※単元株式数は100株であります。

(注) 当社は2023年5月12日開催の取締役会において発行済株式総数の減少を通じて資本効率ならびに株式価値の一層の向上を図るため自己株式の消却について決議し、2023年5月31日に完了いたしました。この結果、消却後の当社の発行済株式総数は22,100,000株となりました。

大株主 (上位10名) (2023年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,591	12.17
BNYM AS AGT/CLTS 10PERCENT	951	4.46
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	900	4.22
ユアサ炭協持株会	899	4.22
株式会社日本カストディ銀行	840	3.95
光通信株式会社	708	3.32
西部ユアサやまづみ持株会	688	3.23
東部ユアサやまづみ持株会	627	2.94
ユアサ商事社員持株会	528	2.48
株式会社三井住友銀行	494	2.32

- 千株未満は切り捨てて表示しております。
- 持株比率については、自己株式を控除して算出し小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。
- 当社は自己株式1,870千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。なお、自己株式には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式(171千株)は含まれておりません。
- 上記信託銀行持株数のうち、当該信託銀行の信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 2,591千株
株式会社日本カストディ銀行 840千株

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.yuasa.co.jp/ir/index.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。

つなぐブランドフェア2023のご案内



当社最大のプロモーションである「ブランドフェア」を全国5会場で開催いたします。社会課題を解決する当社の「つなぐ」商品及びソリューションを多数展示し、サステナブルな社会の実現に向けた取り組みをご紹介します。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

					ブランドフェア 2023 公式Webサイト
関東ブランドフェア 7/7 ・ 7/8 <small>10:00・17:30 9:30・16:30</small> 幕張メッセ <small>9~11ホール</small>	東北ブランドフェア 7/21 ・ 7/22 <small>10:00・17:00 9:00・16:00</small> 夢メッセみやぎ	中部ブランドフェア 9/1 ・ 9/2 <small>10:00・17:00 9:30・16:00</small> ポートメッセなごや <small>新第1展示館</small>	関西ブランドフェア 9/15 ・ 9/16 <small>10:00・17:00 9:00・16:00</small> インテックス大阪 <small>6号館 A・B</small>	九州ブランドフェア 9/27 ・ 9/28 <small>10:00・17:00 9:30・16:00</small> グランメッセ熊本	

動画配信のご案内



当社ホームページにて、2023年3月期決算説明会の動画を公開しておりますので、是非ご覧ください。

<https://www.yuasa.co.jp/ir/index.html>

